

地域コミュニティ推進協議会提案事業評価表(平成22年度執行)

池田地域コミュニティ推進協議会(提案枠7,000千円)

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
地域自主防災体制強化事業	1,260	器具費 500	1,160	器具費 400	自主防災体制の強化を図るため、防災資機材を新設組織に配布する。地域住民の防災活動の強化を図るため、合同訓練と講演会を実施する。	組織単位で訓練を実施していた。しかし、校区内住民の連携と行動について具体性にかける。2地域の自主防災組織へ機器配備が必要。	合同訓練を池小で実施する。約400名の参加であった。当日、自衛隊、消防署他からの訓練支援を得た。危機管理意識の高揚と自主防災組織の重要性を再確認した。	校区内の6自主防災組織が整い、訓練等で更に連帯感が高まった。	住民の参加が可能となる体制づくりを確立するのみ。				危機管理課
		補助金 760		補助金 760									安全防災事業費
地域防犯推進事業	444	器具費 344	385	器具費 285	地域の安全・安心を高めるため電動自転車を購入し、防犯活動の強化を図る。専門家の指導による保身術の講習会を開催する。	21年度に府警本部から「誘拐、非行防止講座」を、池田市消費生活センターから「悪徳商法対策講座」を実施した。	駅前公園に時計の設置、学校園に自転車配備。また、池田市消費生活センターから講話を受ける等、地域防犯の意識高揚に努めた。	消費者センターの講習会でマグネットクラブが配布され好評を得ている。	自転車の購入、時計設置に当り、市との協議調整に必要以上に時間を要した。市は問題点を多角的に見て、事業の推進にあたってほしい。				危機管理課
		補助金 100		補助金 100									安全防災事業費
コミュニティ紙等発行事業	258	補助金 258	251	補助金 251	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する。	初年度から継続事業として年3回全戸配布する。	世帯数増加により、発行部数を増加増刷し、計3回発行した。	協議会の活動内容を掲載。「絵本の館」「自主防災合同訓練」等の特集記事を詳しく掲載する。多くの人から好評を得た。	住民、関係者に関心がもたれる内容の紙面づくりに努めた。	18自治会の会員アンケート(抽出と会長会議で意見などを聞き、協議会でまとめ総会で決定する。		特集記事を掲載する等、記事内容及び紙面づくりに工夫されている。地域住民及び関係者に充分伝わよう、紙面づくりに努めて頂きたい。	政策推進課
「絵本の館」設置事業	4,039	修繕料 3,109	3,859	修繕料 2,940	活動拠点として元交通安全協会建物を改修する。絵本を通して地域住民相互の交流を深めるとともに、まちのぎわいの創出を図る。	21年度は設立準備作業として、施設利用団体の調整と改修協議をす。また、ボランティアスタッフの募集、絵本調達方法等の調整等に当たる。	施設の改修、ボランティアスタッフの応募者の最終決定(24名)後の打合せを終え、9月24日オープンする。尚、前日にオープニングイベントを開催する(参加者約120名)。	スタッフの前向きな取組み姿勢、絵本館の持つ優しさ、温かさが利用者を受け入れられている。絵本を通して家庭内での家族との関わりを深める。	貸出し制度の実施で、来館の向上を図る必要がある。幼児、児童と中学生生徒との3世代交流機会を設計、更なる賑わいを生み出す工夫をする。				総務課
		補助金 930		補助金 919									コミュニティ紙に紹介され効果的に伝えられている。「小さな絵本館」は地域住民の交流の場として期待されているところ。多くの住民に愛され、賑わいを生み出すよう、更に取り組んでいただきたい。
地域掲示板設置事業	879	消耗品費 879	767	消耗品費 767	地域内に統一化した掲示板を設置し、情報の伝達とまちの美化につなげる。	校区内に30ヶ所の取付けを計画する。今日まで14ヶ所の設置を終える。	設置ヶ所が増えたこともあり、情報の伝達効果が表われるようになった。	予定通り6ヶ所の設置を終えた。	掲示物等の貼り付け方法が不十分であった。更なる改善が必要。				観光・ふれあい課
公園内時計設置事業	120	修繕料 120	114	修繕料 114	子どもたちが帰宅時間を意識しながら安心して遊べるよう、公園に時計を設置する。	一般的な公園施設で広域からの市民が利用する。	ソーラー電波時計を設置した。	時計の設置は住民、学校保護者から好評を得た。	提案書を提出した段階で、具体的な協議を進める必要性を感じた。				みずとみどりの課
計	7,000		6,536										土木事業費

細河地域コミュニティ推進協議会(提案枠6,000千円)

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
子どもの安全に対する事業	50	補助金 50	50	補助金 50	子どもたちの安全を守るため、学校と地域住民が連携して、防犯講習会の実施と安全マップを作成する。	安全マップが古く、現実との違いが目立つ。	児童自ら作業したマップを校内に掲示する。また、通学路のチェックを同様にする。	現地調査を実施、危険な場所の確認と、予知する力が養えた。	児童参加の基で、安全マップを作り、危機管理意識を高める必要を感じた。				危機管理課
コミュニティ紙等発行事業	170	補助金 170	170	補助金 170	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する。	協議会存在の認知度が薄い。	年2回発行。徐々に認知度が高くなってきた。	周知効果が出てきた。	地域住民等の投稿が少ない。リアルタイムに地域情報伝達ができない。読者の興味を高める必要あり。				政策推進課
ホームページ作成事業	130	補助金 130	130	補助金 130	地域の観光資源等を開発しつつ、最新の情報を更新し、ホームページを通じて地域の魅力を発信する。	音声・動画の挿入が少ない。	改良する点があるが、音声・動画挿入による臨場感が生まれる。	内容はこの程度で良いと考えている。	関係者間及び外部機関とのリンクをもっと拡大したい。				政策推進課
細河の自然を守る事業	216	補助金 216	216	補助金 216	ホテルの育成事業の推進と剪定枝のエコ資源化調査研究を実施して、地域の環境資源を活用した地域活性化を図る。	自然を守る会と協働事業でホテルの育成と増殖に取り組む。	増殖地の確保で順調に増えている。また、植木とは別に彩り用の葉っぱに取り組む。	ホテルが増え、メダカやセリなども生息し、ピオトープ的になる。彩り用葉っぱが地域の活性化に貢献する。	地域産業の活性化に取り組む。				環境にやさしい課
細河地域活性化推進事業	2,954	補助金 2,954	2,954	補助金 2,954	地域の自然環境や地場産業等を活用し、地域活性化とコミュニティ意識の高揚を図るため、みどりの郷の運営、散策路の整備、「細河の鐘」復興、特産品の朝市等の事業を行う。	観光基本構想に基づき、各事業の取り組みを行ってきた。	みどりの郷を活動拠点にして、特産品の販売や、散策路の整備、多くの自主事業の開催等、合計1万人の参加を得る。	催し物等関係者の努力で順調に進む。リピーターも増えた。	来街者用の駐車場の確保とトイレ等の整備が必要。散策路の整備に多額の費用を要する。	各部会からの報告を受け、役員会でまとめたものを総会で決定する。			地域活性化課
高齢者等配食サービス事業	810	補助金 810	810	補助金 810	配食を必要とする高齢者等に弁当宅配のサービスを実施し、同時に見守り・声かけを行い高齢者の社会参加を促す。	22年10月まで週1回40名の利用者の対応をする。	11月から利用者の要望を受け、週2回計100名の配食となる。	地域の高齢者の口コミと自治会の紹介により配食数が増えた。	調理場所の確保が必要となる。				高齢介護課
メタボリックシンドローム予防教室事業	60	補助金 60	60	補助金 60	メタボリックシンドロームに対する正しい知識を習得するため、地域の自然や食材等を活用した健康講座を開催する。	昨年実施した。参加者の好評を得る。	引き続き実施する。参加者も増える。地域の自然や食材を利用した料理と歩き方の指導等、大変好評を得た。	参加者は満足された。	内容の見直しと簡素化する必要がある。				健康増進課
ブルーライト化事業	854	光熱水費 49 請負費 805	749	光熱水費 45 請負費 704	植木類にやさしい、防犯効果のある青色街路灯を設置する。	植木の地という場所であるため、街全体が暗い状況にある。	スポット的に照明を配備する。	ブルーライト街灯が点在して、まち内の住民意識が高まってきた。	ブルーライト街灯の生産中止で、別機(LED)の設置を検討している。不法投棄防止のため、この事業が必要と考えている。				道路課
細河小学校芝生自動灌水事業	756	補助金 756	756	補助金 756	小学校の芝生管理に節水型の灌水システムを導入し、地域とのふれあいの場を維持する。	芝生管理上、灌水作業は必要。	システムの導入は節水と作業時間の短縮につながる。	芝生の育成が図られる。	管理上の簡素化につながる事例をつくる。				管理部総務課
計	6,000		5,895										教育事業費

秦野地域コミュニティ推進協議会(提案枠7,003千円:うち3千円は繰越)

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
コミュニティ紙等発行事業	600	補助金 600	585	補助金 585	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を地域住民にPRするため、広報誌の発行と防災マップの印刷を配布する。校区運動会や盆踊りを地域全体に周知する。	初年度から継続事業として全戸に配布する。一定の周知が図られた。協議会活動の関心を高める必要がある。	協議会活動だけでなく、地域の催し物等広く記事内容の充実に務めた。	地域行事や各種団体の活動等幅広く紹介して、多くの住民の目を引くようになった。表紙に迫力ある写真を加える工夫をした。	広報活動が地域コミュニケーションの向上に重要な役割となっている。一層の充実を必要としている。	各部会からの報告を受け、役員会でまとめたものを総会で決定する。	地域の自主事業を積極的に取り入れられ、一定の評価が得られたものと考えている。引き続き関係者とともに推進していただきたい。各地域行事など施設内の備品用具を整えられ、関係者などへ使用上の配慮に努められた。コミュニティ紙、ギャラリーを中心に地域内の情報伝達の充実に努められている。	地域内行事の掲載に加え、情報紙内容の工夫と充実に努められている。更に、力強く周知活動に取り組んで頂きたい。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
共通課題等勉強会開催事業	150	補助金 150	117	補助金 117	地域内の共通課題等の勉強会を開催することにより、情報の共有化を図り、コミュニケーションの輪を広げる。	21年度から継続事業として講演会等4回実施できた。	22年度は講演会を3回開催する。	五月山を含む地域の魅力を多くの参加者が感じた。また、日常生活の中で地域を見つめ直すきっかけを得た。子育て支援活動の方向付けに参考となった。	多くの人が参加できる日時の設定が必要。関心のあるテーマや講師を選ぶようにしたい。参加者が少ないと事業効果が少ない。			地域住民の視点に立つて、課題収集と解決方法の切り口として、広く意見を聞く手法で、取り組まれている。多数の参加者が得られるよう努力して頂きたい。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域ギャラリー維持管理事業	180	補助金 168 光熱水費 11 保険料 1	167	補助金 167 光熱水費 0 保険料 0	ギャラリー本体の維持管理を行うとともに、地域住民等の作品の掲示用の用具を購入する。	地域全体としての共通の作品等の発表と地域の情報の掲示場所が不足していた。	地域行事の写真紹介は好評を得る。吉田堅治画伯作品シリーズは好評だった。	地域での催し物の展示はシリーズ企画等、多くの住民から問い合わせが寄せられた。	ギャラリーの存在は増した。作品の入れ替わりが順調に進むよう、関係者に呼びかけたい。			地域コミュニティの核として、一端を担っている。今後のコミュニティの更なる発展を期待する。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域活性推進事業	200	補助金 200	182	補助金 182	地域交流と地域活性化を重点に置く、住民参加のフリーマーケット等イベントを行う。	地域交流や活性化に重点を置く催し物の計画が出るが、実施に結びつかなかった。	まずは手始めとしてフリーマーケットを開催した。	出品参加が25店あり好評であった。地域活性化の感触を得られる事業であった。	更なるPRが必要。多くの人が参加できるように工夫したい。			地域住民の主体的な創作活動の輪が広がれば、地域コミュニティの形成にとって大きな後押しになると思われる。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域掲示板設置事業	600	消耗品費 600	600	消耗品費 600	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を地域住民にPRするため、掲示板を設置する。	掲示板が古くなってきた。協議会の活動報告はギャラリーのみであった。	地域団体からの要望を受け、一部の地域に設置した。足りない感じだった。	掲示物の保管が良くなり。見やすくなった等好評を得る。	地域にとつて必要な物であり、コミュニケーションを図ることに役かっている。引き続き進めていきたい。			地域コミュニティの核として、一端を担っている。今後のコミュニティの更なる発展を期待する。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域イベント備品整備事業	320	補助金 320	320	補助金 320	地域イベント等を実施する際に必要な、テント用具を購入する。	地域行事等に使用するテントを購入したが、不足状況である。	軽量でワンタッチ作業で組み立てられる備品であるため、安全で簡単にできる。	地域内のイベント、各種団体の活用が増えてきた。	更に大きいサイズのテントが求められる。			地域の自主事業を積極的に取り入れられ、一定の評価が得られたものと考えている。引き続き関係者とともに推進していただきたい。各地域行事など施設内の備品用具を整えられ、関係者などへ使用上の配慮に努められた。コミュニティ紙、ギャラリーを中心に地域内の情報伝達の充実に努められている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
AED配置事業	320	器具費 300 補助金 20	314	器具費 294 補助金 20	地域行事等の傷病者発生時に、早期の救命措置を行うため、共同利用施設にAEDを配置する。	既に3台設置している。他に必要とする地域がある。	要望があった地域の南畑会館に設置した。	利用者及び団体と社会福祉団体等の人から安心感を持たれた。	使用講習会の受講者を増やしたい。引き続き設置箇所を増やしたい。			既に設置している3台に加え、1台を新たに共同利用施設に配置することにより、より多くの住民の安心感を得ることができたと考える。また、看板を設置することで視認性が高まり、AEDの存在が住民によりわかりやすくなったと考える。	健康増進課 保健福祉事業費
交通安全看板設置事業	300	補助金 300	297	補助金 297	道路面に交通看板シール、地域内の路地や三叉路の危険箇所や公園出口等の電柱に交通看板を設置し、安全意識の向上を図る。	立地特性から坂道や狭小道路が多く、危険な箇所の対策が必要。	初年度から取組み、今回は渋谷地区を中心に行う。道路肩の表示(ストップマーク)を融解式表示に変更する。	表示工法の変更で剥がれなくなった。また、飛び出し坊やが運転者の安全意識向上につながった。	路肩表示方法を融解式に変えた。			地域の中で交通安全意識の向上が図れていると思われるため、地域から交通事故が1件でも減少することを期待する。	交通安全課 土木事業費
交通安全教室事業	300	補助金 300	247	補助金 247	見守り隊、地域リーダーを中心に交通安全教室を開き、指導者、リーダーを育成する。統一したユニフォームを購入し、安全意識を向上させる。	警察に依頼して、学校庭で交通安全教育を毎年実施する。	府・市及び地域消防団も加わった実車を使った安全教育を実施する。登下校時の見守り隊の帽子を購入する。	車と人との体験教室が良かった。また、通行車両にも注意を呼びかけたい。	学校が主体となって取り上げてほしい。見守り隊からの要望であったが、実際は着用していない。			交通安全教育を実施することで、交通安全について再認識できたと思われる。今後は着用に向けて努力されたい。	交通安全課 土木事業費
自然学習講習会・昆虫育成等事業	300	補助金 300	267	補助金 267	昆虫が生息できるための環境整備や自然を大切にすることを養う。昆虫を育成する講座を開催し、親子ふれあいの場を提供する。	かぶと虫の育成を隣接協議会が実施している。地域内の名所・旧跡があまり知られていない。	カブト虫の里親募集を実施。2回開催、170名が参加。名所・旧跡スタンプラリーを実施。各名所に説明者を配置。参加者29名。	生き物に関心を持ち、命の不思議さと大切さを知る。幅広い年齢層の参加で、名所・旧跡の再発見と地域の魅力を感じてもらった。	継続事業として取り上げるが、養殖場(渋谷公園)になりうるか。次年度は子どもたちに自然を大切にすることを養う「自然観察」のスタンプラリーを計画したい。			本事業をきっかけとして、自然環境への関心が高まり、保全意識の向上が図られる事を期待する。	みずとみどりの課 土木事業費
公園内時計設置事業	394	修繕料 394	394	修繕料 394	子どもたちが帰宅時間を意識しながら安心して遊べるよう、公園に時計を設置する。	長年の要望。	子どもたちが遊ぶ、東畑、西畑両公園に設置する。	帰宅する時間がわかり、安心して遊べる。	好評であるため、他の公園施設にも配置したい。市と協働しながら進めたい。			公園に時計を設置することで多数の利用者の利便性が高まっていると思われる。	みずとみどりの課 土木事業費
街路灯強化事業	3,339	光熱水費 72 請負費 3,267	2,930	光熱水費 53 請負費 2,877	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る。	年次計画を基に、老化による高電圧を行ってきた。	畑1〜5丁目内の照度調整を図った。	当地区は道路幅が狭く、明るくなったことにより安心感が生まれた。	年次計画は終了した。地域住民の意見が事業に反映できた。			街路灯の新設・照度アップ等により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費
計	7,003		6,420										

北豊島地域コミュニティ推進協議会〔提案枠6,875千円〕

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
コミュニティ紙等発行事業	500	補助金 500	498	補助金 498	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、広報紙等を発行する。	協議会の活動状況等についての認知度はまだまだ低く感じる。	協議会の活動紹介と会員募集を兼ねて6回/年地域住民に配布する。	全世帯(6,800枚)を配布。回数を重ねるごとに認知度は高まってきた。	記事内容の工夫と地域、情報等の充実、カラー印刷化等で改善を加えたい。	各部会でもとめられていたものを役員会で決定する。	「きたてしまプラザ」の存在が深まってきた。更に地域住民に幅広く利用していただくよう努めていきたい。明るく楽しい場づくりのため、園芸高校との協働事業を更に推進していただきたい。コミュニティ紙などで、わかりやすい地域情報の伝達を積極的に進められている。	年6回の発行に感謝したい。この努力は、協議会の認知度が高まる結果につながっている。引き続き、紙面の改善と地域情報の充実に努めていきたい。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
きたてしまプラザ活用事業	4,570	燃料費 155 光熱水費 820 修繕料 2,100 下水道使用料 25 補助金 1,470	4,081	燃料費 138 光熱水費 608 修繕料 2,062 下水道使用料 5 補助金 1,268	きたてしまプラザ(旧北豊島公民館)を地域住民相互の交流等の拠点として整備・開放し、健康と福祉の増進、文化教養の向上を図る。	活動拠点として6日/週会館。建物の老朽化で改修が必要。	空調システムを個別空調に取り替え、省エネ化を図る。使用申込み者が増え利用者から好評を得るようになった。	利用者(2,130名/年)が増える。地域団体の会合、自主活動の講習会、幼児向け図書館開放等地域住民に幅広く利用されている。	地域住民が参加し楽しめる施設運営に取組みたい。建物の老朽化に伴う改修を順次進めていく必要性を感じる。			個別空調化で会館の利便性が向上し、開館日の拡大や、子育て事業等の新しい利用もあり、地域での存在感が益々高まった。	総務課 コミュニティ推進事業費
AED配置事業	368	器具費 368	355	器具費 355	活動拠点となるきたてしまプラザにAEDを配置する。使用方法の講習会を実施する。	高齢者の利用が多い。救急究明設備がない。	きたてしまプラザ1階にAEDを設置する。急患に対応が加納となり、安心感が生まれました。	消防署の講習を受け、使用手順、救助の仕方等を教わった。	定期的な講習の開催と器材の点検が必要。			地域内の住民に親しみのある施設に適切に配置することにより、住民がAEDの存在を常に意識することができるようになり、かつ住民の安心感を得ることができたと考える。	健康増進課 保健福祉事業費
花いっぱい整備事業	220	補助金 220	220	補助金 220	豊島北2丁目公園(通称ロケット公園)の花壇に園芸高校の協力を得て花を育て、地域住民の憩いの場、子どもたちが安全に遊べる場とする。	公園の改修が済み、多くの人々に利用されている。今後の維持管理が必要となる。	維持管理の一環として、園芸高校の指導による花植え替え作業を実施している(2回/年)。	住民の憩いの場として、明るく安全で楽しい公園として評価されている。	地域内の園芸高校と住民による協働事業である。引続き実施したい。			地域のコミュニティ場として、充実してきている。園芸高校との協働花壇の管理も良好に思われる。	みずとみどりの課 土木事業費
公園バスケットコート環境整備事業	1,200	修繕料 1,080 補助金 120	1,188	修繕料 1,068 補助金 120	豊島東公園内の維持管理と騒音等への対策を施し、周辺住民の環境改善を図る。	初年度より開設するが、周辺住民から騒音等の苦情があった。	苦情対応として、扉開閉管理による使用時間の厳守を図る。	利用形態の健全化が図られ、健全な子どもたちのコミュニケーションの場が確保された。騒音についても軽減できた。	施設の管理補修、利用者の使用ルール徹底指導、電気時計の設置他。			協議会と要望者で騒音対策について協議を重ねて、防音シートを設置し、また、利用時間を制限するため、門扉の施錠を地域自ら行うプロセスが地域のコミュニティ形成に繋がっていて良い傾向が見られたと思う。	みずとみどりの課 土木事業費
計	6,858		6,342		提案権未使用額 17千円								

くれば地域コミュニティ推進協議会〔提案枠6,696千円・うち71千円は繰越〕

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課	
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)	
青ハト隊/ハトロール車購入事業	1,921	手数料 11 保険料 44 自動車購入費 1,701 補助金 151 自動車重量税 14	1,803	手数料 10 保険料 40 自動車購入費 1,596 補助金 151 自動車重量税 6	校区青ハト隊の巡回活動を支援するため、老朽化したハトロール車を買換える。	既存の老朽化した青ハト車を新たに買い替え、呉服小学校区の巡回することで犯罪の抑止を図る。	車両を買替えたことにより、隊員の負担が軽減でき、巡回の回数や範囲の充実を図ることができた。	校区内の細い道まで巡回範囲を広げることにより、各種犯罪の抑止に車両を活用できた。	より一層の巡回の充実を図る。	各事業責任者の意見を聴き、協議会で決定する。	地域イベントの恒久的開催が可能な環境づくりになるよう、更に努力していただきたい。校区内ハトロールの活動は地域住民の安全意識の高まりが徐々に深まっている。高齢者に休憩施設の配置に大変苦労されていた。今後、関係者と充分な事前協議を図り、事業の充実に努めていただきたい。	今後も現在の安全に対する意識を持ってハトロール活動に努めていただくことを期待する。	危機管理課 安全防災事業費	
コミュニティ紙等発行事業	500	補助金 500	500	補助金 500	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、広報紙等を発行する。	協議会の存在や活動内容について、理解してもらえていなかった。	協議会の活動報告やアンケートを実施することにより、協議会活動に理解を得たり、地域住民の考え方を知ることができた。	協議会の活動内容を周知することにより、理解と協力を得ることができた。	内容の充実を図り、事業のお知らせや協議会への参加を促進していきたい。			協議会活動の周知を図る為の手段として、重要な事業です。事業目標を達成するよう努めていただきたい。	政策推進課 コミュニティ推進事業費	
地域イベント支援事業	1,500	行事委託料 1,000 補助金 500	1,500	行事委託料 1,000 補助金 500	校区全体の盆踊り大会を開催することにより、地域の人と人のつながりが、コミュニティの活性化を促す。	自治会や町内会単位で開催されており、校区全体の一体感を感じられなかった。	地域全体で継続して開催することにより、校区に活気が出てきた。	地域住民が協力して開催することで、校区に連帯感が生まれている。	盆踊りに限らず、校区全体で開催することにより、一層の連帯感を図る。			地域の交流に寄与している。今後は、コミュニティ助成等を利用して備品購入も視野に検討したい。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
公園他時計設置事業	1,440	修繕料 180 修繕料 900 修繕料 360	640	修繕料 75 修繕料 302 修繕料 263	子どもたちに帰宅時間を意識させ、安心して遊べるようにするため、公園や会館に時計を設置する。	遊ぶ子どもたちに時間の認識が薄く、見守る方としても不安があった。	設置された時計により、自然と帰宅を促すことができるようになった。	公園で遊ぶ子どもたちへ帰宅時間の周知を促すことができるようになった。	見守る側としても、設置された時計により、指導・声掛けを実施していきたい。			高齢者に休憩施設の配置に大変苦労されていた。今後、関係者と充分な事前協議を図り、事業の充実に努めていただきたい。	公園及び会館に時計を設置することで多数の利用者の利便性が高まっていると思われる。通行中でも時間を確認する事が出来るので、特に時計を持たない子供たちには好評を得ると考える。(観光・ふれあい課)	総務課 コミュニティ推進事業費 観光・ふれあい課 地域活性化事業費 みずとみどりの課 土木事業費
福祉バス乗降場他椅子設置事業	920	消耗品費 920	916	消耗品費 916	利用者の利便性を向上し、高齢者等の出かける機会を応援する。	福祉バスの利用者には高齢者が多く、立ったままでバスを待っている姿をよく見かけた。	福祉バス利用者以外にも、休憩されていた。	利用者の利便性が向上し、高齢者が出かける機会を応援することで、引きこもりの減少に寄与している。	他の場所にも設置し、高齢者の出かけるしやすい環境の充実を図りたい。			高齢者が出かける機会を応援することで、引きこもりの減少に寄与した。	高齢介護課 保健福祉事業費	
街路灯強化事業	415	光熱水費 8 請負費 407	376	光熱水費 8 請負費 368	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る。	継続事業であり、住民要望や協議会で検討している箇所への設置を予定。	設置済みの箇所では犯罪が減少し、夜道も安心して歩ける等好評である。	地域住民の防犯意識の向上を図ることができた。	設置要望の対応や未実施箇所箇所の抽出に努める。			街路灯の新設・照度アップ等により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費	
計	6,696		5,735											

石橋地域コミュニティ推進協議会(提案枠6,375千円)

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
安心・安全な地域づくり備品整備事業	122	補助金 122	122	補助金 122	関係者とともに実施する防犯・防火などの地域巡回活動等に必要な備品を整備する。	・地区内の犯罪が多発している ・学生が夜遅くまで公園等で見受けられる ・地域巡回に必要な備品が揃っていない	ライト、キャンプ等2ヶ年で一定の巡回備品が揃った。	野玉坂会館を活動拠点とする。地域を2グループに分け、見守りを行う。	継続的な活動が必要。学生の行動は、各学校にも情報提供し引き続き改善が求められる。	各部会でまとめられたものを、役員会で決定する。	石橋公園整備事業は、市及び協議会、地域関係団体と充分協議され、協働事業として進められた。利用者の視点に立った施設に仕上がる。地域の中心的公園として、愛着を持って多くの者の利用を願う。コミュニティ紙は予定通りの発行が出来なかった。今後、欠かすことなく充実した内容の情報を地域住民に伝えていただきたい。	危機管理課	
コミュニティ紙等発行事業	300	補助金 300	70	補助金 70	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、広報誌等を発行する。	協議会活動等を広く地域住民に周知するために発行している。	3回の発行を予定するが、「石橋自主防災」関係冊子のみとなった。	当初予定通りの発行ができなかったことは反省している。	23年度はより充実した内容で取組んでいきたい。			地域住民への周知手段である事業である。今後、欠かすことなく発行に努めていきたい。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板設置事業	600	消耗品費 600	578	消耗品費 578	地域広報活動の拠点となる案内掲示板の設置箇所を充実させる。活動状況等を広報する。	既に提案事業で14ヶ所設置済み。他に、社会福祉協議会、自治会等が設置済みとなっている。	22年度は更に3ヶ所設置する。古い掲示板の取替えも実施した。掲示内容を広めていきたい。	協議会活動の紹介と、学校新聞、福祉団体、スポーツ団体、公共機関からの掲示物等広く住民に伝達した。	当事業が地域広報としての伝達に活躍している。地域内の配置バランスと老朽化改善に務めたい。			地域コミュニティの核として、一端を担っている。今後のコミュニティの更なる発展を期待する。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
AED管理事業	33	消耗品費 33	28	消耗品費 28	地域に配置されたAEDの維持管理を行い、早期の救命措置に備える。	配置された器具の維持管理を行う必要あり。	メーカー側のリコールで取り替える。	住民から安心感を得ている声。	他の施設にも配置する方向で考えている。			パッド等の消耗品を適切に交換することにより、引き続きAEDを安全に使用できる状態を保つことができたと考える。	健康増進課 保健福祉事業費
ガーデニング教室開催事業	140	補助金 140	140	補助金 140	「花を育て心を潤う」まちをめざし、専門家による教室を開催することで、地域コミュニティの輪を広げる。	昨年は文化展の開催。今年は2年ぶりとなり待ち望まれていた。	2回の開催予定で。楽しい雰囲気の中充実した時間を過ごす。	この教室で地域住民間の輪が広がっていることを実感する。	2回開催、計69名の参加を得る。講師は元園芸高校先生で、非常に好評であった。もう少し参加者が増えればと考えている。			緑化意識の向上と、地域の輪の拡大が図られている。住民によるまちなみの緑化につながることを期待する。	みずとみどりの課 土木事業費
公園整備事業	4,320	修繕料 4,320	4,301	修繕料 4,301	校区の中心に位置する石橋公園を、地域住民のニーズに合った楽しい遊び場や癒しの場として、総合的に改修・整備する。	利用率の高い、多目的に活用されている公園である。しかし、遊具の老朽、広報の不備等、住民のニーズにあった施設とは言えない。	各年齢に合った遊具の配置と広場の改修等、市との協働作業で完成した。	地域住民及び団体の意向が取り入れられ、皆さんから喜ばれている。	利用者の声を聞きながら、更に充実した施設になるよう努めたい。			平成20年度から地域と石橋公園のリニューアルについて協議を重ね、地域と市が協働で実施することができたことは高く評価できる。整備後、地域は当該公園に愛着を持って利用していただいております。石橋公園の利用に伴う問題についても継続的に地域で考えているので、よい傾向であると思う。	みずとみどりの課 土木事業費
道路安全対策事業	660	請負費 660	435	請負費 435	(通称)池高道にグリーンベルト歩道帯を設けることにより、歩行者・運転者の安全意識の向上を図る。	過去2年の継続事業。残り約70mの整備が必要。	全区間が完成する。歩行者、運転者等がマナーと細心の注意を払っている。	狭い道路での交通モラルの向上に努めている。	初年度の区域で汚れが目立つ所もあり、その対策を必要とする。			歩行者の通行帯確保による安心感の向上は一定の効果があったと考えている。歩行者、自転車など道路交通の安全意識、交通モラルの更なる向上を期待します。	道路課 土木事業費
街路灯強化事業	100	光熱水費 3 請負費 97	97	光熱水費 2 請負費 95	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る。	巡回を実施して、順次進めている。	4ヶ所の実施を行った。	防犯、安全対策の増強が図れた。	重点箇所を優先して整備する。年次計画を基に進めていきたい。			街路灯の新設・照度アップ等により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費
教育問題等講演会開催事業	100	補助金 100	70	補助金 70	身近な教育問題、子育て問題等のミニサークル的な講演会を開催することで、地域コミュニティの輪を広げる。	身近なテーマで講演会を開催することで、地域コミュニティの輪を広げる必要がある。	2回の講演に35名に参加があった。両講演は外国人の講師で「子育て」「外国に暮らして」等のテーマで違った文化を聞くことができた。	地域と子育て、男・女との問題点等、地域活動上の参考として有意義であった。また、子どもと向かい合うことの大切さを知った。	子どもの育て方と向かい合う姿勢、緊張感等、多くの課題や問題に取り組むことが重要。			地域住民主体で教育問題等の講演会を企画・立案して取り組むことは、コミュニティの中で子育てについて具体的に語り合うことができ、地域の教育力、子育て力の向上に有効である。	教育研究所 教育事業費
計	6,375		5,841										

五月丘地域コミュニティ推進協議会(提案枠6,250千円)

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
防犯安全看板設置事業	90	補助金 90	88	補助金 88	犯罪の未然防止のため、防犯モデル地区等を設定して、看板の設置を行う。	「防犯モデル地区」設定に伴う、意識を高める必要がある。	防犯意識の向上につながる環境づくりに取り組む。	安全、安心に暮らせるまちになるよう期待するところ。	工作物の維持管理が必要。			看板設置が、地域の防犯意識の向上に繋がることを期待する。	危機管理課 安全防災事業費
緊急通報装置管理事業	1	光熱水費 1	1	光熱水費 1	地域に設置した緊急通報装置の維持管理を行い、犯罪の未然防止並びに住民の安全確保を図る。	地域ふれあい公園で21年度に設置した。	防犯意識が欠如していた。緊急時の対応が敏速になる。	地域住民相互の安全意識への取り組みを目指す行動に移る。	使用、復旧方法等、管理体制が大切。			緊急通報装置の運用が、今後犯罪の抑止効果に繋がることを期待する。	危機管理課 安全防災事業費
コミュニティ紙等発行事業	382	補助金 382	233	補助金 233	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、広報紙等を配布する。	協議会活動の周知が充分でなかった。	年2回、各戸に配布する。	徐々に周知度が高まってきた。	更に協議会活動を周知していきたい。			広く地域住民に周知する為には、コミュニティ紙の役割が重要になる。更なる、取り組みに期待したい。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板設置事業	600	消耗品費 600	525	消耗品費 525	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く住民に周知するため、掲示板の設置箇所を充実する。	地域住民に協議会活動PRと情報伝達が充分でない。	広く住民に伝達するため実施する。	情報伝達効果が徐々に現れた。地域団体からの利用相談も増えた。	地域住民への伝達と活用を広めていきたい。			地域コミュニティの核として、一端を担っている。今後のコミュニティの更なる発展を期待する。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
AED配置事業	300	器具費 300	294	器具費 294	傷病者発生時に、早期の救命措置を行うため、AEDを配置する。使用方法の講習会を実施する。	身近な公共施設等、人が集まる場所に配置したい。	五月丘会館、コンビニエンスストアに配備する。	緊急時の対応が可能となる。	機材の点検と管理、使用講習会の開催を行う。			既に設置している2台に加え、1台を新たに地域内の施設に配置することにより、緊急時の対応がより迅速かつ適切に行えるようになったと考える。	健康増進課 保健福祉事業費
交通安全対策事業	32	補助金 32	32	補助金 32	坂道での自転車、歩行者の事故防止のため、道路面表示を行う。	立地上、坂道が多く、事故防止対策が求められる。	警察、交通関係機関の協力のもと、必要となる箇所に施す。	地域住民と運転者に安全意識が高まると考えている。	継続事業として関係者とともに取り組みたい。			地域の中で交通安全意識の向上が図れていると思われるため、地域から交通事故が1件でも減少することを期待する。	交通課 土木事業費
昆虫育成等講習会実施事業	326	補助金 326	317	補助金 317	五月山にカブトムシ等昆虫が生息できるための環境整備や昆虫を育成する講座を開催し、親子のふれあいの場を提供する。	五月山に昆虫が育成できる環境づくりと、親子のふれあいの場の提供を実施する。	講習会等ふれあう機会が増す度に、話題が高まっている。	2年目の取り組みとなるが、日常的に各自が取り組む傾向に進みつつある。	生き物であるカブトムシの生育施設の管理体制を強化する。			ふれあい広場の設置にかかる設備が過剰に思われる。所期の目的に必要な事業計画と予算計上をもっと検討すべきと思われる。	みずとみどりの課 土木事業費
花いっぱい整備事業	96	補助金 96	75	補助金 75	(通称)やまざくら通り等に花を植え、地域の人々が花を育て、身近な生活環境の美化を図る。また、心を豊かにするまちづくりに取り組む。	まちのホット空間が欠けている。	公園、道路内で和やかな雰囲気のある空間が生まれた。	地域内の美化意識が高まってきた。	地域住民全てが花を育てる習慣を身に付けたい。			所期の目的が達成されず、ほぼ教育施設の緑化に終始している。今後、予算については教育委員会に移すべき。	みずとみどりの課 土木事業費
公園整備事業	3,000	修繕料 3,000	2,998	修繕料 2,998	地域コミュニケーション、身体の健康づくりを目指すため、快適な公園の整備を行う。	塩塚公園、横岡公園の利用増進が重要となる。	(塩塚公園) 園路改修、フラワーポット設置 (横岡公園) 手すり取付、健康遊具設置	利用者の利便性の向上、健康意識の高まりによる意向の対応等、地域住民の考えを取り入れた。	各施設の改修に当り、意向を重視した整備を進めたい。			階段、園路を改良したことで、利用者の利便性が向上したといえる。健康遊具の正しい利用は徹底されにくい。協議会が中心となりその利用について周知指導を行っていただくことで、地域コミュニケーションの促進、利用マナーの向上が図られると考える。	みずとみどりの課 土木事業費
通学道路安全対策事業	500	請負費 500	441	請負費(※) 441	交通事故防止を図るため、横断防止柵を設置し、歩行者の安全対策を行う。	地域の点検を実施。	2ヶ所の改善を図る。横断歩道防止の安全柵を設置する。	特に幼稚園前の改修は、関係者への意識向上につながる。	各所に対策を広めていきたい。			横断防止柵の設置によって歩行者の乱横断が大幅に軽減された。今後は更なる交通マナーの向上を期待したい。	道路課 土木事業費
転落防止柵設置事業	350	請負費 350	309	請負費(※) 309	公園の斜面沿いに転落防止柵を設置し、地域住民の安全を確保する。	既設の防止柵に安全面での不安があった。	鋼製に取り替える。	歩行者の安全が確保された。	更に各所に転落防止柵が必要。			転落防止柵の設置により、公園への転落の危険性が大幅に軽減された。	道路課 土木事業費
街路灯強化事業	75	光熱水費 2 請負費 73	78	光熱水費 2 請負費 76	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る。	犯罪防止策のため、街路灯が必要。	3ヶ所の設置を実施した。	安全、安心面の効果があった。	維持管理面で住民の協力を求めたい。			街路灯の新設・照度アップ等により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費
小学校時計設置事業	498	修繕料 498	490	修繕料 490	児童や地域の人々に正確な時を知らせ、児童等には帰宅時間を意識させ、安心して遊べるようにする。	建物改修に伴い、既設時計が見づらくなる。	運動場から見やすい位置の壁面に設置した。	安心して運動場利用ができるようになった。	維持管理は学校に委託する。			当該事業は、まさに五月丘小を中心に地域に暮らす方々でこそ提案できたものとする。またひとつ地域の住み心地を向上させた事業として評価したい。	管理部総務課 教育事業費
計	6,250		5,881										

(※)2事業を合同実施、850千円の予算に対し750千円の決算額。按分にて処理。

石橋南地域コミュニティ推進協議会【提案枠7,092千円：うち842千円は繰越】

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
防犯カメラ管理事業	480	光熱水費 30	397	光熱水費 14	校区に設置した防犯カメラの維持管理を行い、犯罪の未然防止並びに子どもの安全確保を図る。	地域内に5基設置をする。機材の維持管理に努める。抑止力と安全の確保に努める。	設置後初めての地域警察署からの開示要請があった。運営管理委員と行政の立会いで実施する。	開示要請がない方が良いが、結果解決につながった。運営委員の心労もあつたが今後の教訓にもなった。	短時間で開示できる研究が必要となる。	協議会における評価方法	避難場所案内掲示板設置は市全域の設置に繋がるモデル事業となった。石橋周辺地下道美化工事は一定の環境効果が図られた。引継ぎ、日常の維持管理に市と協働で努めていきたい。	防犯カメラの運用が、犯罪が減少に繋がっているとの地域からの声があり、一定の評価があつたと考える。	危機管理課
		修繕料 250		修繕料 246									安全防災事業費
		設備保守点検委託料 200		設備保守点検委託料 137									
避難場所等案内掲示板設置事業	1,580	消耗品費 1,580	1,470	消耗品費 1,470	災害時における冷静な対応を図るため、避難場所等までの経路を掲示する。また、地域住民の日ごろの危機管理意識を高める。	危機管理対策から必要性を感じた。	地域内の公園(6ヶ所)に設置する。また、差し込み標語をいれる仕組みを考案する。	関係者及び行政側と協議を重ねた結果、良い評価を得られた。	今後の模範となる製品として広めていけたら考えている。維持管理が必要。		避難所案内掲示板を設置したことにより、万が一、災害が発生した時、避難場所の確認及び日常時の周知徹底に繋がることに期待する。	危機管理課 安全防災事業費	
コミュニティ紙等発行事業	250	補助金 250	250	補助金 250	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を配布する。	継続事業として年間通して市広報に折込発行している。	協議会活動の紹介等、地域住民の理解と支援を得ることができた。	紙面の工夫(カラー刷り、写真を増やす等)が受け入れられた。	みなさんが楽しみ、喜んで見ていただく機関紙づくりに努めたい。配布区域の検証も必要。	各部会でまとめられたものを協議会で決定する。	協議会活動を紹介する、最も大切な事業である意識されている。毎回、紙面の工夫に前向きに取り組まれている。	政策推進課 コミュニティ推進事業費	
地域掲示板設置事業	582	消耗品費 582	466	消耗品費 466	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く住民に周知して、情報の共有化を図る。	周知板が必要不可欠であるが設置されていない。	2ヶ所設置する。地域分権の情報開示に役立っている。	協議会活動の関心度が高まる。まちの美化にも一役を担う。	活用内容等を模索する中で、継続事業としての取り組みを確立する努力が必要。		地域コミュニティの核として、一端を担っている。今後のコミュニティの更なる発展を期待する。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
石橋周辺地下道美化事業	1,500	修繕料 1,500	1,412	修繕料 1,412	落書きやポスター等により美観が損なわれている市道石橋15号線、ガード下付近の美化を行う。通行者の快適性向上とまちの活性化を促進する。	落書き等美観が損なわれていた。通行者の快適性とまちの活性化を促進したい。	落書きや不法ポスター等は改善された。自転車等の設置改善が求められる。	一定の環境効果は図られた。壁面の図案が興味深く面白い。	不法駐輪対策を関係者と取り組み、美しいまちにしたい。		落書きにより美観を損ない、放置自転車により幅が狭い道路であったが、当該事業により壁面の美化については一定の効果があつているが、今後、放置自転車についてどのように対策するかが課題。	みずとみどりの課 土木事業費	
道路安全対策事業	2,700	請負費 2,700	2,123	請負費 2,123	旧西国街道にグリーンベルト歩行帯を設けることにより、歩行者・運転者の安全意識の向上を図る。	旧西国街道が地域にあり、道路幅が狭く、安全上課題あり。	路面にグリーンベルトを設計。歩行者、運転者の安全意識が向上した。	道路が美しく明るくなる。関係者の安全意識を持たせる効果が生まれた。	グリーンベルトの維持管理を習得したい。更に道路安全対策事業を継続したい。		歩行者の通行帯確保による安心感の向上は一定の効果があつたと考えている。歩行者、自転車など道路交通の安全意識、交通モラルの更なる向上を期待します。	道路課 土木事業費	
計	7,092		6,118										

鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会【提案枠6,861千円：うち486千円は繰越】

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
安全パトロール実施事業	396	器具費 396	396	器具費 396	地域の安全・安心の向上を図るため、電動自転車地域パトロールを行う。	通学時は、地域の有志の方が見守っていた。	安全パトロール隊を結成し、通学時の交差点・通学路に監視員をおき、交通ルールと挨拶の励行を指導。	危険箇所での見守りや、電動自転車による広範囲の巡回が可能になり、教育大学付属小学校との連携もできるようになった。	地域の団体、有志ボランティアの方々とより一層連携し、無理なく継続できる体制づくりが必要である。	各都会でまとめられたものを役員会で決定する。	都会のオアシスとして広く市民に親しまれている。水月公園の整備を幅広い年齢層の者が自由に利用できる、環境づくりのため積極的に取り組まれた。地域住民にも使い勝手の良い施設となった。水月児童文化センターと連携された事業は、相乗効果が生まれるものと考えられる。関係者間の議論を深め、発展的な事業の推進に努めていただきたい。	危機管理課	
コミュニティ紙等発行事業	200	補助金 200	199	補助金 199	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、広報紙等を配布する	地域の情報紙としては、各自治会の発行紙だけであった。	緑丘鉢塚両地区の情報紙として、協議会の活動を周知するようになった。	年3回、1回約3,500部～4,000部を発行し、地域世帯や小学校に配布した。	各自治会間の交流を深める手助けとなる紙面づくりが求められる。また、効果的な配布方法を検討する必要がある。			地域の情報紙としての認識の基、地域内活動団体との連携を密に、引き続き事業推進に努めて頂きたい。	政策推進課
地域イベント支援事業	280	補助金 280	280	補助金 280	地域で実施されるイベントを支援する。菖蒲まつりのプログラムとしてふれあい動物園を開園し、子どもたちが小動物にふれあう機会をつくるとともに、緑小イルミネーションコンサートの拡充を図る。	ふれあい動物園は前年度事業の継続。緑小イルミネーションは冬のイルミネーションコンサートとして地域に定着していた。	ふれあい動物園は幼児・ファミリー向けとして好評。緑小イルミネーションはより華やかな電飾となった。	ふれあい動物園は小動物とふれあえる数少ない機会。緑小イルミネーションは12月の恒例イベントを華やかに飾った。	ふれあい動物園は無料開放のため、収益が上がりづらい。			ふれあい動物園は、子供達に人気であり、イベントの更なる発展を期待する。	観光・ふれあい課
AED管理事業	98	消耗品費 98	83	消耗品費 83	地域に設置されたAEDの維持管理を行い、早期の救命措置に備える。	継続事業、AED3台の維持管理。	水月児童文化センター、アルビス緑丘集会場、鉢塚会館の3ヶ所に設置。	緊急時の対応拠点ができた。また、地域イベントへの貸出しも行った。	AEDへの関心・知識を持ってもらう。配置箇所を増やす。救命講習等を実施する。			パッド等の消耗品を適切に交換することにより、引き続きAEDを安全に使用できる状態を保つことができたと考える。	健康増進課
交通安全看板設置事業	800	補助金 800	800	補助金 800	道路面に交通看板シール、交差点等危険箇所の電柱に交通看板を設置し、交通安全意識の向上を図る。	危険箇所への看板等の設置を要望されていた。	電柱看板87枚、ストップマーク31箇所、飛び出し坊や26基を設置。	看板は車両の運転者から目に付きやすいと好評。飛び出し坊やも子どもたちから好評である。	駐車違反対策や運転者自身の遵守意識向上も必要である。			地域の中で交通安全意識の向上が図れていると思われるため、地域から交通事故が1件でも減少することを期待する。	交通課
昆虫育成講習会実施事業	100	補助金 100	100	補助金 100	水月公園内にカブトムシ産卵場を作り、育成する姿を親子で学ぶ。	前年度からの継続事業。	水月公園でもカブトムシの成虫を発見するようになった。	緑丘小以外の児童や園児の参加も増え、家族ぐるみの参加も多い。	応募者が多いので参加者の一部負担等、運営方法の再考が必要である。			みずとみどりの課	
公園整備事業	4,100	修繕料 4,100	3,969	修繕料 3,969	地域住民の交流の場、憩いの場としての整備を行う。水月公園にはミニステージを、その他公園には高齢者用、幼児用の遊具とベンチを設置する。	水月公園は前年度にテーブルチェアと芝生の広場を設置。鉢塚公園は遊具が老朽化している。	水月公園にミニステージと木製倉庫を設置。鉢塚公園の老朽化した遊具を撤去し、花壇を設置した。	水月公園ではミニコンサートが催せるようになり、鉢塚公園ではキャッチボールなどで遊ぶ姿を多く見かけるようになった。	ミニステージを利用した企画を地域団体に提案する。また、継続改修により、幅広い年代が利用できる公園を目指す。			事業として、地域に浸透してきているように見て取れる。今後も、地道な管理と、普及活動に期待する。	みずとみどりの課
ふれあい講習会開催事業	530	補助金 530	482	補助金 482	子どもたちが自然のすばらしさを体験できるよう星座観察会を開催する。親と子のふれあいを深めるため、音楽会を開催する。	星座観察会は昨年度からの継続事業、音楽会は地元の有志により開催。	大阪市立科学館の協力を得てプラネタリウム投影会を開催。音楽会では協議会でコーナーを主催した。	星座観察会は父母親の参加も多く、親と子のふれあいが図れた。音楽会は入場者数約140名で、全員合唱などで音楽に親しめた。	小中学生の参加者を増やすため、PTA・学校との連携が必要。			生涯学習推進課	
ふるさと再発見講座開催事業	357	補助金 357	232	補助金 232	わが町に愛着、誇りが持てるよう地域再発見の講座と社会見学会を開催し、地域住民のコミュニケーションを図る。	池田の歴史は学校で学ぶが、実際に現場に行く機会は少ない。	児童が訪問した場所について語れるようになった。空港見学は企画段階から学校の教員の協力を得られた。	児童が日常会話で池田を語るなど一定の効果があった。空港見学は定員の5倍の応募があるなど関心を集めた。	空港見学は学校行事と重ならないよう留意しながら、実施回数を増やす必要がある。			池田市を子ども達によく知ってもらえる事は、大変重要と考える。コースを設置するのが、非常に困難になってきていると思われるので、継続に期待している。	生涯学習推進課
計	6,861		6,541										

神田地域コミュニティ推進協議会(提案枠6,500千円)

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
安全パトロール実施事業	175	消耗品費 105 補助金 70	104	消耗品費 95 補助金 9	電動自転車による地域パトロールを実施し、地域の安全・安心の向上を図る。	通学路を中心にPTA関係者のパトロールが行われていた。下校時の実施も含め、20年度より開始する。	電動自転車で巡回する。ボランティア関係者の増員を得て実施している。	安全パトロールの行動は徐々に防犯意識の向上につながっている。	13名の隊員であるが、体制強化を図るためには、更に増員が必要と考えている。自転車の追加購入も考えたい。	各部会からの報告を受け、役員会でまとめられたものを総会で決定する。	グリーンベルトは歩行者の安全確保の向上を図るため効果がある。今後、道路交通の安全意識と交通モラルの向上に努めていただくとともに、安全パトロールの実施と合わせ総合的に取り組んでいただきたい。地域の立地特性から発生する転落防止柵の設置事業は、地域住民に喜ばれている。引き続き安全確保に努めていただきたい。地域の美化対策は、地域内の事業者などと連携を図って、更に推進していただきたい。	危機管理課	
コミュニティ紙等発行事業	400	補助金 400	400	補助金 400	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、広報紙等を配布する。	事務費予算の範囲内で年1回発行する。	22年度は年3回全戸配布ができた。カラー刷りの仕上げとなった。	地域内活動単体の紹介も取り上げたので、周知度は増した。	協議会会員及びボランティア関係者の募集を紙面で呼びかけたい。			協議会の活動紹介及び地域行事等、幅広い記事の内容を地域住民に伝える為、各所に紙面構成の工夫に努められている。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域イベント備品整備事業	338	器具費 338	323	器具費 323	地域行事に必要な備品を購入し、各種行事の充実を図る。	老人を対象とする地域行事に、不整いの備品が多く使いづらい状況であった。	まず、新しいテーブルを一部購入する。	設営が簡素化して、会場の雰囲気も明るくなった。	順次増やしたい。また、保管場所について学校等と協議を行いたい。			キャスター付の軽量な機の導入で高齢化する利用者への利便性が高まった。今後は、利用頻度の向上に努めて頂きたい。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
「ポイ捨て禁止」看板設置事業	96	消耗品費 96	96	消耗品費 96	「ポイ捨て禁止」看板を設置し、地域の美化を推進する。	道路及び河川等にゴミ等の不法投棄があった。	啓発看板を設置する。	3ヶ所の設置付近は、不法投棄が減った。	設置場所の増設を考えていきたい。			「池田市美しいまち推進条例」の施行に併せ、「ポイ捨て禁止」看板を設置した事により、効果的にモラルの向上が図られ、ポイ捨てや不法投棄の減少が期待できる。	環境にやさしい課 環境衛生事業費
転落防止柵設置事業	1,700	請負費 1,700	1,523	請負費 1,523	水路の転落等の危険箇所安全柵等を設置し、事故防止に努める。	地域内各所に安全柵のない所がある(アンケート調査結果)。	3ヶ所の設置を実施した。	今日まで10ヶ所設置する。転落の危険性は減少した。	数多くの小路がある。危険度の高い箇所を優先して継続実施をしたい。同様に関係者との協議も進めたい。			転落防止柵及び転落防止ネットの設置により、水路への転落の危険性が大幅に軽減された。	みずとみどりの課 土木事業費
道路安全対策事業	2,800	請負費 2,800	2,126	請負費 2,126	小学校前道路にグリーンベルト歩道帯を設けることにより、歩行者・運転者の安全意識の向上を図る。	既存のグリーンベルトが退色し、未完成の状況にあった。	範囲及び幅員可能な設定の基で実施できた。	下校時の児童及び関係者の安全確保ができた。	持続可能な塗装工法の開発が求められる。			歩行者の通行帯確保による安心感の向上は一定の効果があったと考えている。歩行者、自転車など道路交通の安全意識、交通モラルの更なる向上を期待します。	道路課 土木事業費
街路灯強化事業	991	光熱水費 33 請負費 958	927	光熱水費 29 請負費 898	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る。	街路照明の不足箇所を自主防災会・消防団から指摘される。	自治会等の要請のあった内で実施する。まちは明るくなった。	放火等への牽制効果が出ていると思う。	引続き、自治会未結成の地域内の事業が求められる。農業地への対応が必要。私有地の設置に当り、調査・協議の検討が必要。			街路灯の新設・照度アップ等により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費
計	6,500		5,499										

伏尾台コミュニティ推進協議会〔提案枠6,125千円〕

事業名	予算額(千円)		決算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課
	説明(千円)		説明(千円)										科目(目)
安全パトロール実施事業	540	修繕料 80	237	修繕料 48	地域の安全・安心の向上のため、青色パトロール車による地域安全パトロールの充実を図る。	20年9月から、小学校の登校日を中心にパトロールを実施してきた。地域住民の安全に対する意識の高まりを感じるようになってきた。	1日4回計4時間のパトロールを実施する。地域に定着してきた。	安全意識の向上、子どもたちも積極的に大人とも挨拶をかわすようになる等、地域のコミュニケーションを高める効果もあった。	隊員の増員を図り、活動運営を簡素化して、役割分担することが必要。			小学校区内でパトロールの認知が高まってきている。日々の地道な活動の成果だと考える。	危機管理課
保険料 37		保険料 19		安全防災事業費									
補助金 414		補助金 162											
自動車重量税 9		自動車重量税 8											
防犯防災啓発事業	66	補助金 66	62	補助金 62	地域住民の防犯・防災に対する意識の向上を図るため、防災訓練、巡回パトロールを啓発するための用品等を購入する。	自治会の防災防犯委員会が中心となって、年末の日曜日に訓練とパトロールを実施していた。自治会の予算縮減で厳しい状況にある。	防災訓練には348名、年末巡回パトロールには93名の参加者により活動を実施した。	パトロールに必要な提灯、懐中電灯等の購入で、各隊員のモチベーションアップにつながり、パトロールの効果が高められた。	事業の継続は勿論、地域の自主防災組織を運営する担い手の育成が重要と考えている。		防災訓練を開催したことが、防災意識の向上に繋がって欲しい。	危機管理課 安全防災事業費	
防犯カメラ整備事業	3,297	光熱水費 7 請負費 3,290	3,051	光熱水費 6 請負費 3,045	空き巣等の犯罪の抑制を図るため、校区内主要箇所に防犯カメラを設置する。	巡回パトロール等を実施しているが、以前より、空き巣の発生や不法投棄等の問題がある。	地域の主要な箇所に防犯カメラを設置する。	一定の防犯効果が得られる。また、地域住民が安心感を感じられる環境がつけられた。	画像の期間及び管理方法の認識を明確に共有する。防犯システムを広くPRしたい。		防犯カメラを設置したことにより、地域に安心感が生まれた。今後の運用に期待する。	危機管理課 安全防災事業費	
伏尾台センター時計整備事業	431	修繕料 431	427	修繕料 427	伏尾台第一コミセンに時計を設置し、地域住民の利便性の向上を図る。	既存の時計が壊れていた。バス利用者から指摘があった。	見えやすい場所に太陽電池式電波時計を設置する。	好評であった。	器機の維持管理を適正にする。	関係者の意見を参考にして、役員会でまとめる。	バス停等から見易い場所に設置したこと、利便性がかなり高まった。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
AED管理事業	66	消耗品費 66	55	消耗品費 55	地域に配置されたAEDの維持管理を行い、早期の救命措置に備える。	2年前に設置した。定期的な点検・管理が必要。	使用期限が切れたパットを交換した。	機能更新を図った。	設置箇所の周知と使用方法の伝達が重要。常に使用できる状態を確保する。		パッド等の消耗品を適切に交換することにより、引き続きAEDを安全に使用できる状態を保つことができたと考える。	健康増進課 健康福祉事業費	
子育て支援環境整備事業	180	補助金 180	178	補助金 178	伏尾台第一コミセン内に幼児用遊具を整備し、幼児を持つ母親の子育て環境の改善とコミュニケーションの場づくりを行う。	乳幼児を持つ母親が気軽に集まり語り合う場がない。	第一コミセンの一室を使用し、気軽に集まり語り合う機会を設けた。10回程度/月実施する。毎回約5組の参加があった。	子育てのストレスの軽減につながり、参加者から好評をいただいている。地域の子育て環境の改善に役立っている。	事業のPRと参加者の増加を図る。スタッフの補充等、市との連携を更に進めていきたい。		生活の場であり多くの時間を過ごす大切なコミュニティの中で子育て中の親が気軽に集い、語り合っ子育ての不安を解消する場を提供でき、地域の子育て力も高められた。	子育て支援課 保健福祉事業費	
協議会事務所設置事業	489	補助金 489	395	補助金 395	地域コミュニティ推進協議会の活動拠点を整備し、地域住民に活動及び地域分権制度のPRを行う。	協議会活動の認知度が低い。気軽に集まり語り合う場所がない。	施設の確保ができ、気軽に集まることが可能になった。	好立地に開設でき、協議会の存在を知る人が増えた。地域コミュニケーションを高めることにつながる。	事務所の有効活用と掲示板の活用を促進していく。		施設の有効利用を推進し、コミュニティの醸成に活用していただきたい。	みずとみどりの課 土木事業費	
街路灯強化事業	990	光熱水費 22 請負費 968	904	光熱水費 22 請負費 882	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る。	夜間照明が暗いという意見があった。	協議会及び地域住民が巡回して、必要な箇所の確認作業と改善を行った。	協働作業から住民の理解が深まり、安心してもらう環境が増した。	継続事業を考えている。費用対効果も考えて、地域住民とともに取り組みたい。		街路灯の新設・照度アップ等により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費	
計	6,059		5,309		提案権未使用額 66千円								

合計	72,694		66,117		提案権未使用額 83千円〔提案枠合計 72,777千円・うち1,402千円繰越額〕							
----	--------	--	--------	--	---	--	--	--	--	--	--	--